

2024年3月期 決算説明会

2024年5月30日

株式会社日本ケアサプライ

東証スタンダード 2393

1 決算ハイライト (2024年3月期決算)

2 今期の取組みと通期業績予想

1 決算ハイライト (2024年3月期決算)

2 今期の取組みと通期業績予想

- ・ 業容拡大を見据えた**各種施策を実施**
- ・ レンタル資産の購入による減価償却費や人件費、物流費の増加等があったものの、福祉用具サービスが**堅調に推移し増収増益**

■ 福祉用具サービス

- ・ 人員の採用や育成を強化・レンタル**資産の積極的**な投入・**IT活用**で物流やレンタル資産管理の**効率化**などにより、業績は堅調に推移
- ・ 拠点展開では、**高齢者の増加**が見込まれる**都市部**を中心に**新規開設**や**倉庫の大型化**のため移転・拡張を推進

■ 高齢者生活支援サービス

- ・ 「**バランス弁当**」のメニュー拡充や物流倉庫の追加設置により、物流コストを削減し**収益拡大**
- ・ フィッティング付きおむつ配送サービス「**おむピタ**」の**拡販**を推進

2024年3月期の決算ハイライト（前年同期比）



福祉用具レンタル卸売上高が堅調に推移し、増収増益

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	25,892	28,592	2,700	+10.4%
営業利益	2,117	2,173	55	+2.6%
経常利益	2,142	2,200	58	+2.7%
純利益 ^{※1}	1,514	1,578	63	+4.2%
EBITDA ^{※2}	7,828	8,362	534	+6.8%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 経常利益 + 支払利息 + 減価償却費

2024年3月期末の決算ハイライト（業績予想比）



(百万円)

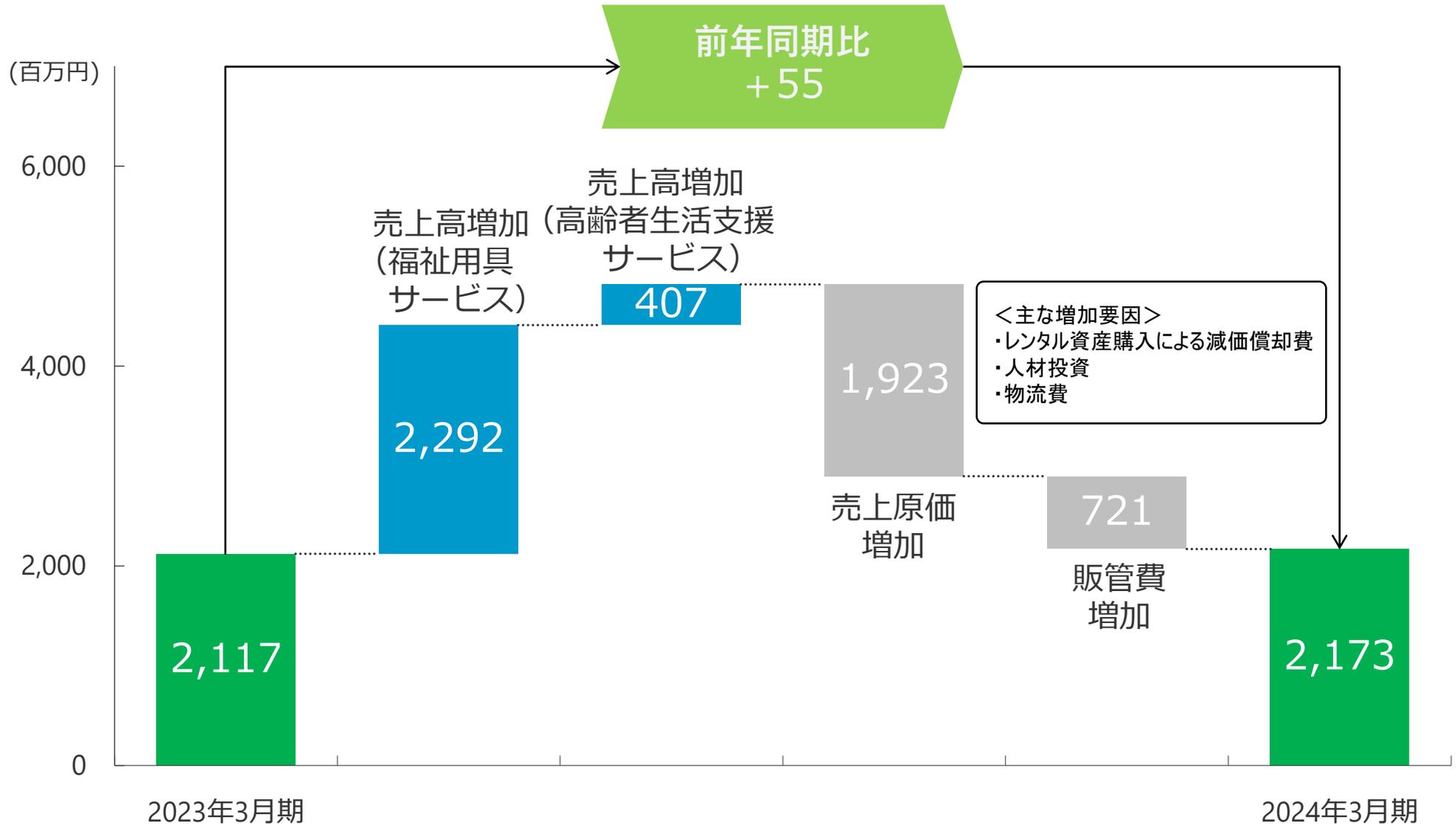
	2024年3月期 業績予想※1	2024年3月期 実績	達成率
売上高	29,000	28,592	98.6%
営業利益	2,300	2,173	94.5%
経常利益	2,300	2,200	95.7%
純利益※2	1,600	1,578	98.6%
1株当たり 当期純利益(円)	102.97	101.57	—

※1 2023年5月10日発表

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

連結営業利益の増減要因（前年同期比）

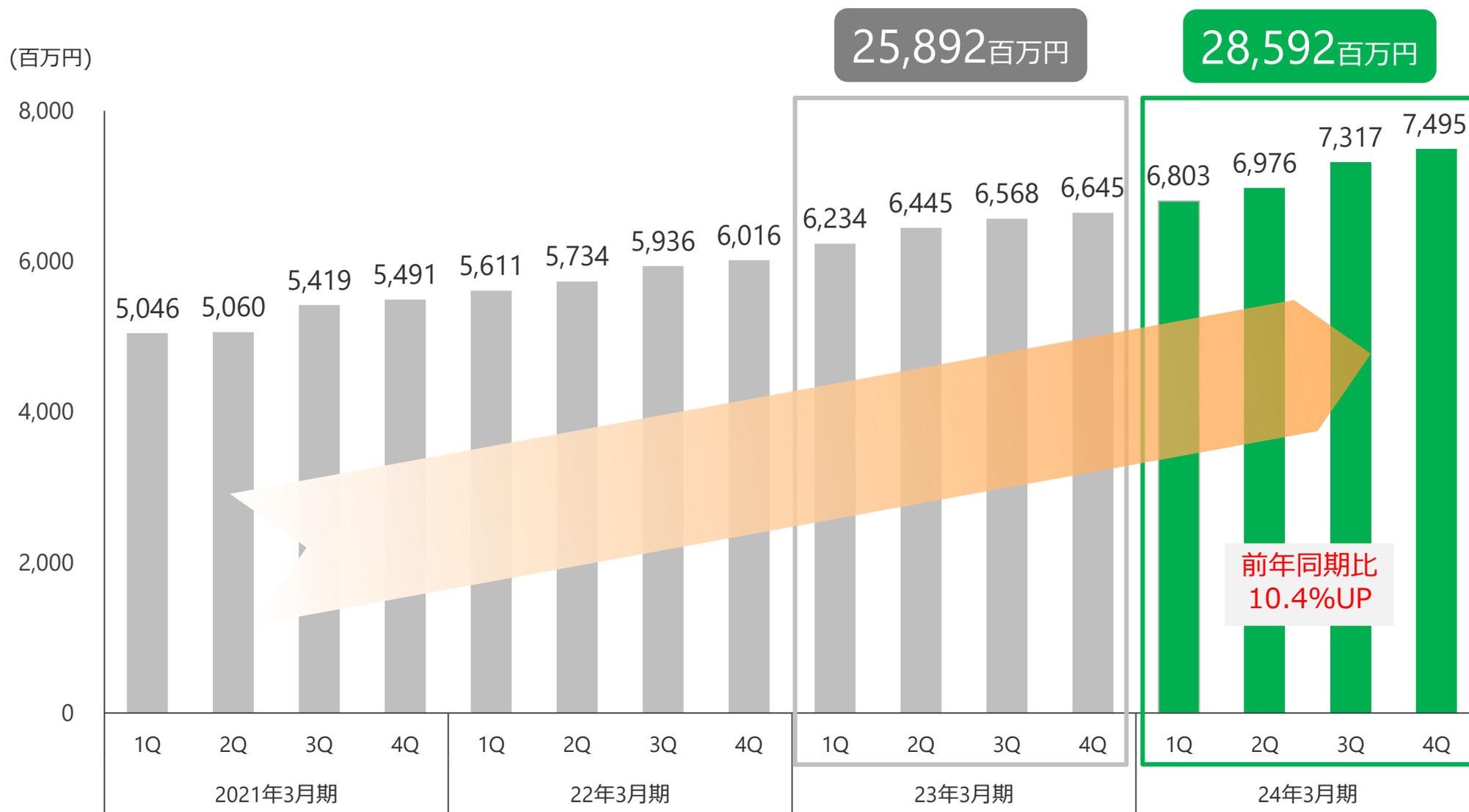
増収効果により、増益



連結売上高の推移（四半期）



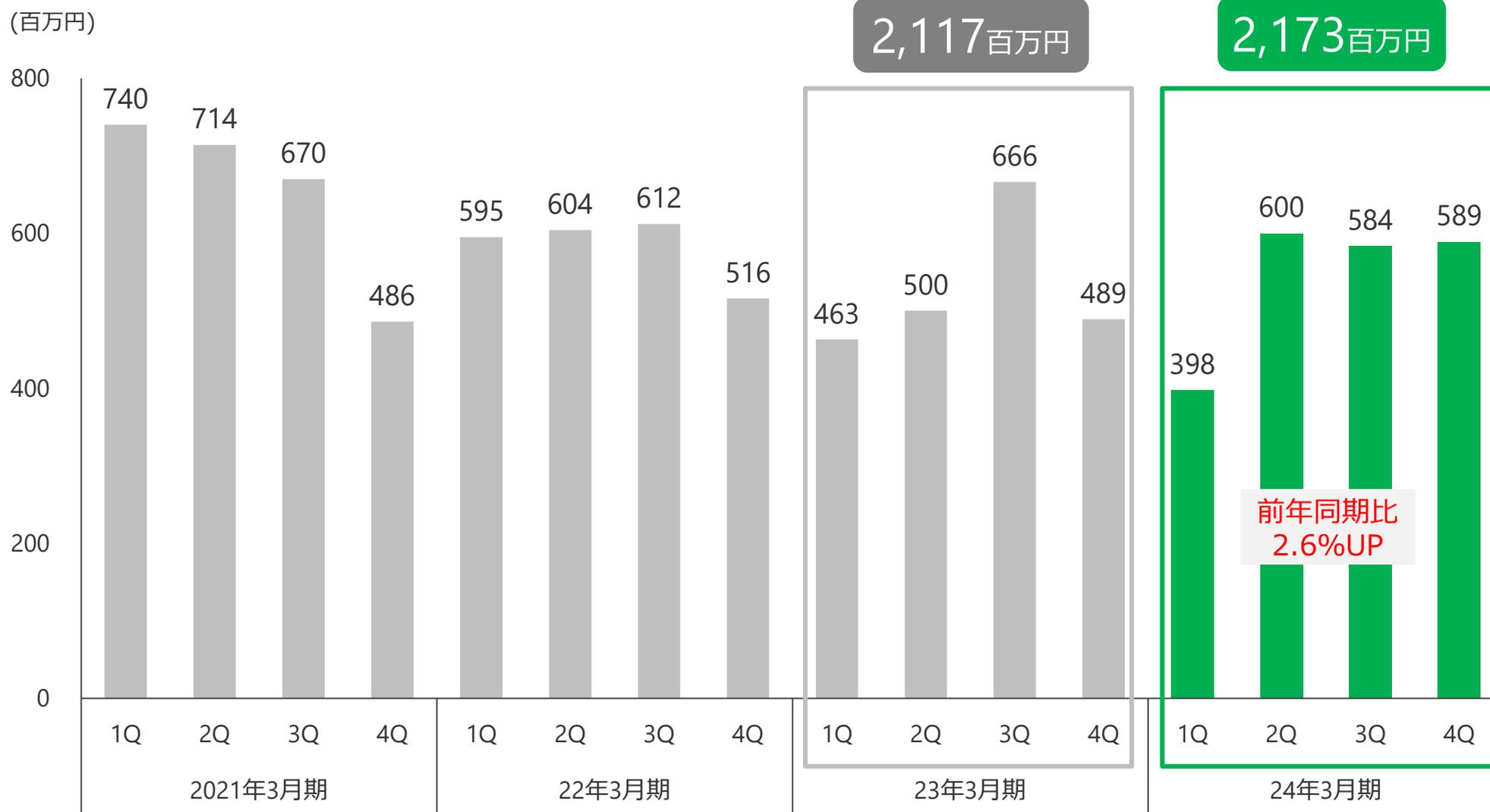
9年連続で売上高は過去最高を更新



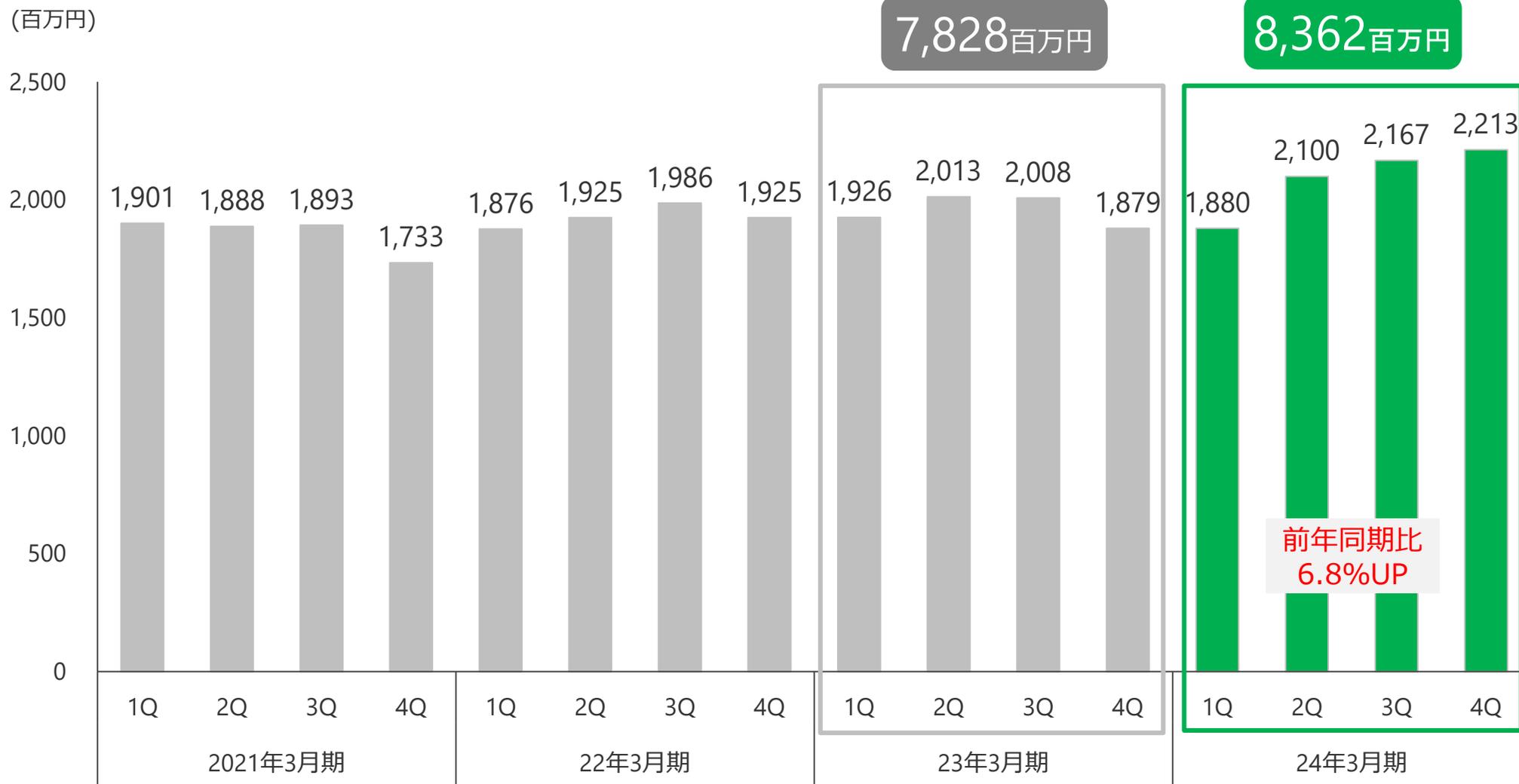
連結営業利益の推移（四半期）



継続して安定した利益を確保



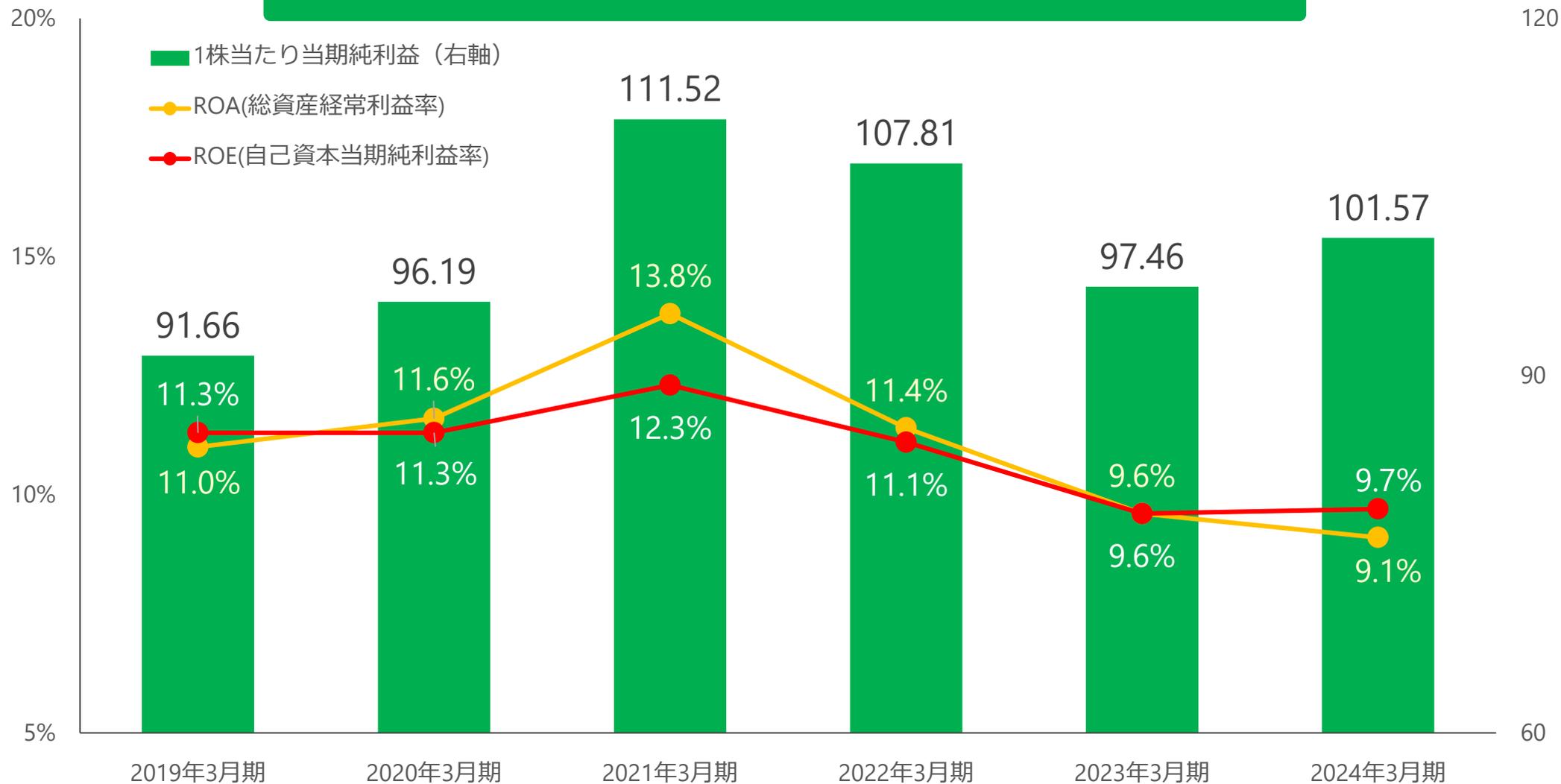
EBITDAの推移は、着実に向上



※経常利益 + 支払利息 + 減価償却費

ROEは、8%を超える水準で推移

(円)



連結貸借対照表（前期末比）



資産合計では、主にレンタル資産や拠点開発への投資が増加
負債合計では、主に短期借入金が増加

(百万円)

	2023年3月期末	2024年3月期末	増減額
流動資産	5,869	5,760	▲109
固定資産	17,301	19,641	2,339
（うちレンタル資産）	12,687	14,516	1,828
資産合計	23,171	25,401	2,229
負債合計	7,084	8,853	1,769
純資産合計	16,086	16,547	460
負債純資産合計	23,171	25,401	2,229

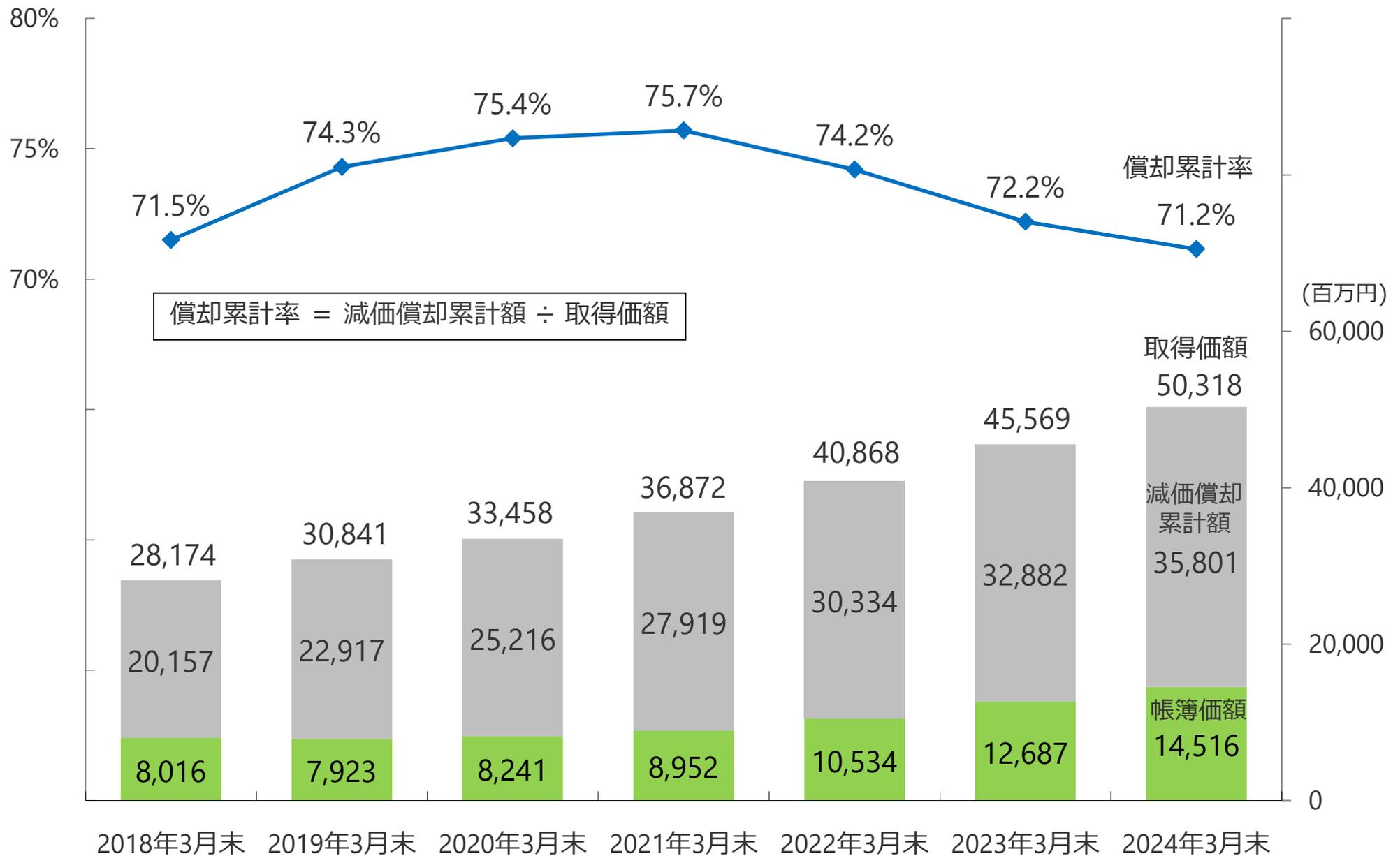
連結キャッシュ・フロー（前期比）



（百万円）

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	1,748	1,491	▲256
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲7	339	346
（うち減価償却費）	5,686	6,158	472
（うちレンタル資産の取得による支出）	▲7,227	▲7,437	▲210
投資活動によるキャッシュ・フロー	132	▲775	▲908
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲381	▲343	38
現金及び現金同等物の期末残高	1,491	711	779

レンタル資産の保有状況の推移



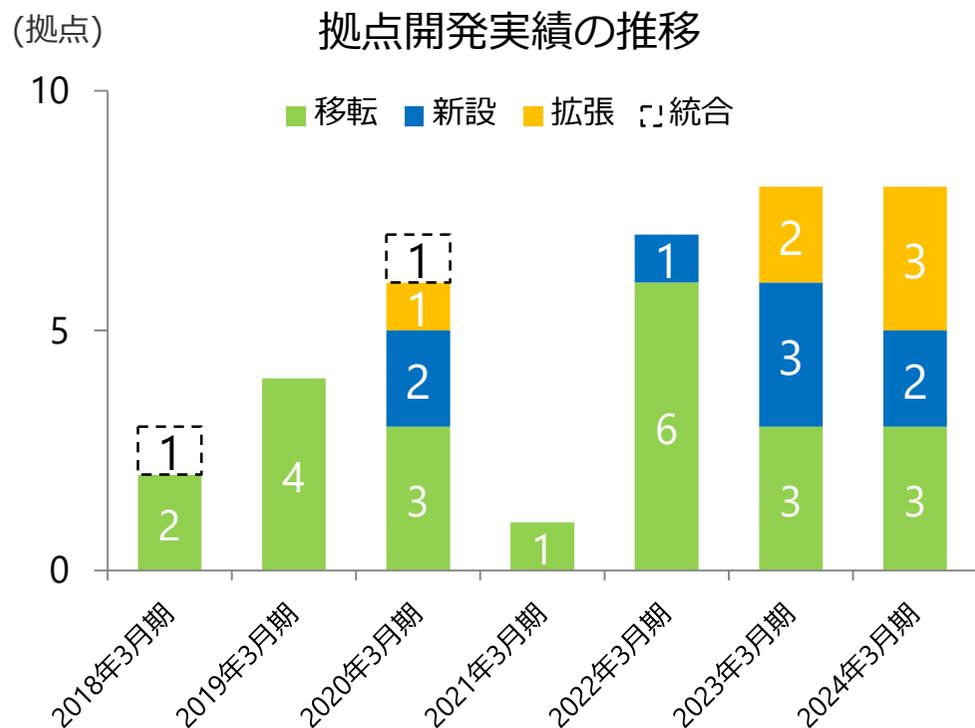
1 決算ハイライト (2024年3月期決算)

2 今期の取組みと通期業績予想

都市部を中心に営業拠点の拡充を継続

新規開設による
都市部の需要増加に対応

拠点大型化(移転・拡張)による
倉庫作業の効率化



2023年	6月	佐倉営業所	新設
	6月	島根ステーション	移転
	6月	浜松営業所	拡張
	7月	八戸ステーション	新設
	9月	群馬営業所	移転
	10月	愛媛営業所	移転
	12月	福岡営業所	拡張
2024年	3月	沖縄営業所	拡張

2024年3月末時点の営業拠点数 94か所

「グリーンケア・フォーラム」の更なる拡大

質の高い情報発信と顧客基盤を活用した集客を強化

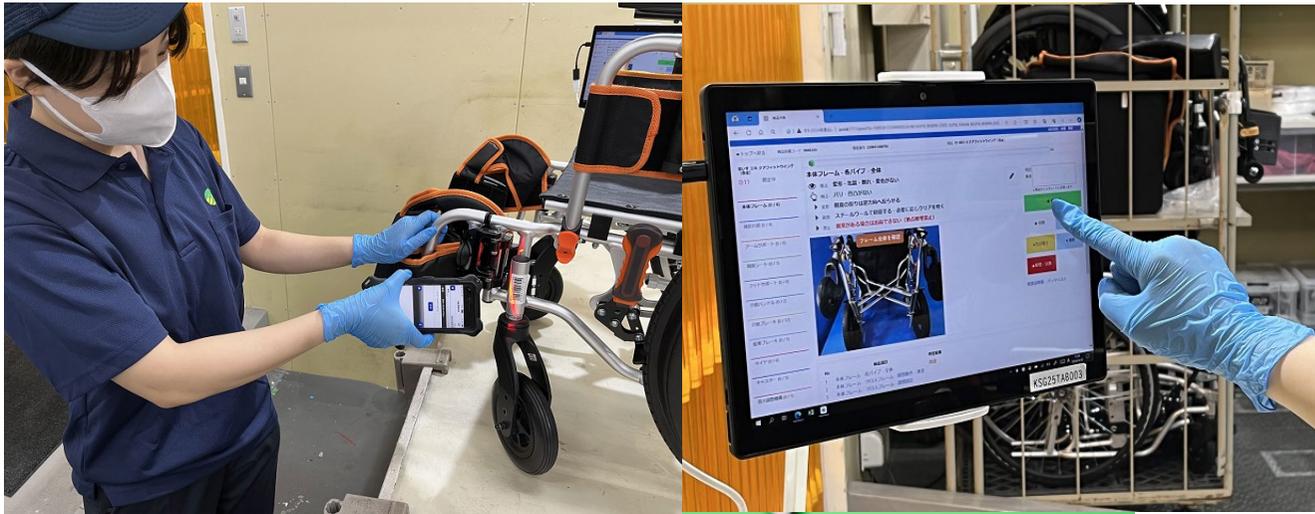


- 2024年3月期は、計11回開催（2024年3月現在）継続して開催中
- フォロワー数（現在約1万5千人）の増加を目指すと共に、フォロワーとの関係強化を推進

▲開催案内のチラシ

業務効率化や資産管理の高度化のための 業務システムを独自に開発し、機能を向上

- IT工程管理システム（動画による作業工程を管理する仕組み）の導入により出荷・検品工程が可視化され、品質向上につながる。
- スタッフへの教育・研修にも、有効な手段として活用。



▲倉庫内作業イメージ

介護施設給食の慢性的な人手不足に加え、 感染症対策を背景に食事サービスの拡大を推進

商品ラインアップの拡充
全150種以上（2024年3月現在）

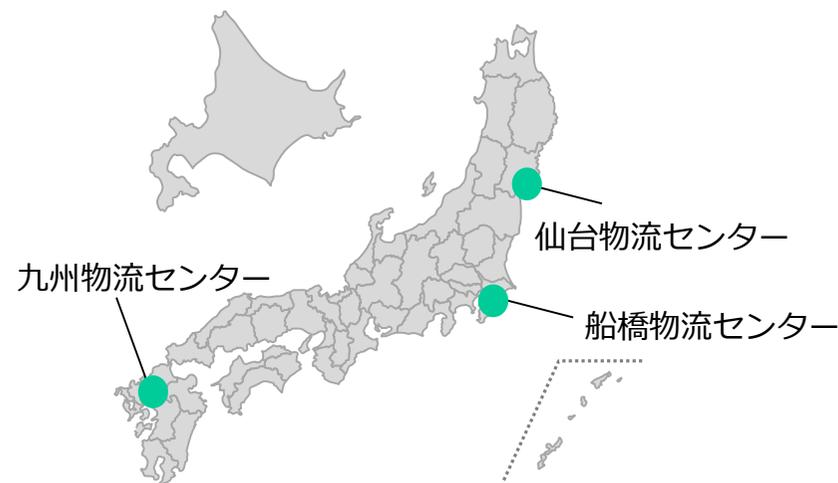
事業拡大に向けた物流網の
構築によるコストの削減



▲メニューの一例
「栗ご飯弁当」



▲「バランス弁当」カタログ



▲外部委託による物流倉庫を設置

おむつメーカー大手のリブドゥコーポレーション、 シーディーアイ、当社の3社共同でサービス提供

最適なおむつとモレない安心感を・・・



- メーカーの専門家によるおむつ選定やフィッティングを活用することでおむつ漏れ改善
- メーカー直送によるご利用者宅のおむつ切れ防止や買い物の手間を削減
- 介護事業者の新たな保険外サービスとしての取組み

Topics !

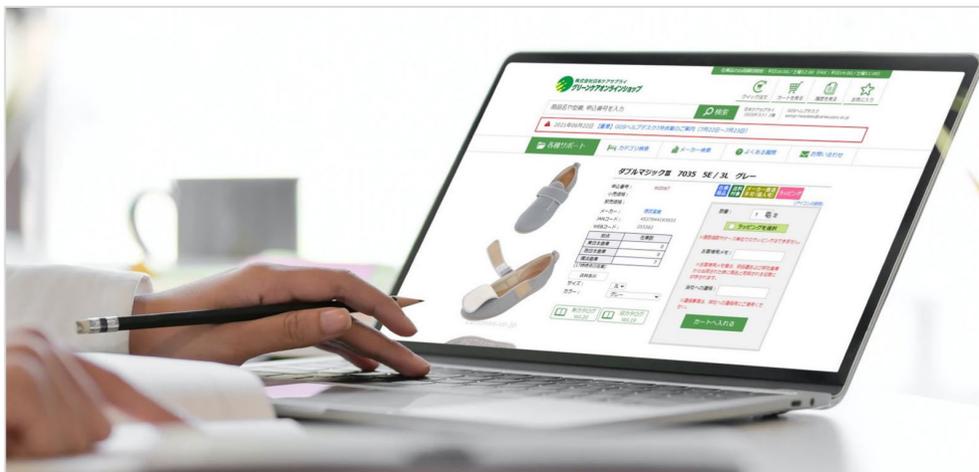
ウェルビーイングアワード2024
(2024年3月開催) ※
に「おむピタ」が、価値の高い
サービスとして評価され、
「活動・アクション」部門でファ
イナリストに選出されました。

※2022年11月ウェルビーイングアクション実行委員会設立。多様な幸福と健康に向き合い、認め合える社会づくりに貢献したウェルビーイングな「商品・サービス・活動・人物」を表彰する取組み。

福祉用具と生活関連商品を取り揃えた 事業者向けECサイト「グリーンケアオンラインショップ」

- ・ 20万アイテムを超える
充実した品揃え
- ・ 在庫商品は、平日16時までの
ご注文で当日出荷

ヘルプデスクが丁寧にサポート

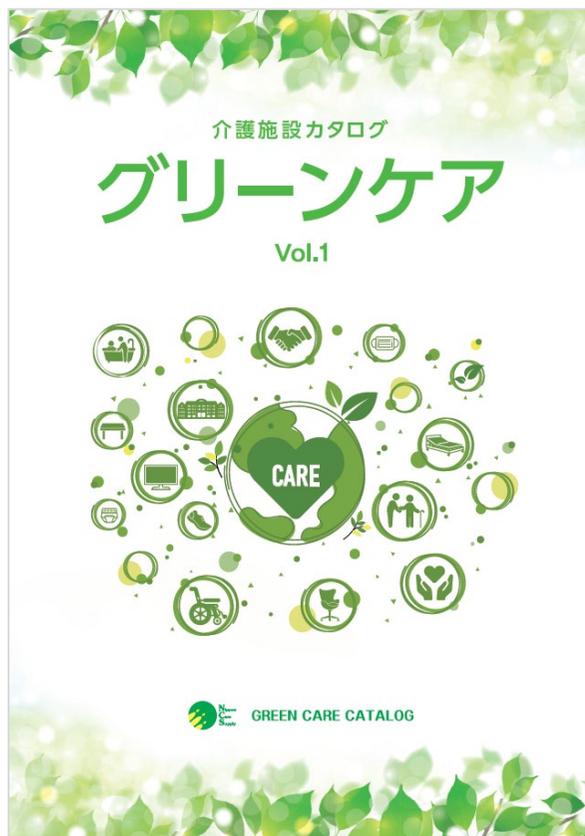


▲パソコンからの注文画面イメージ



▲問合せ対応のイメージ

相互の販売拠点網や顧客基盤を活用した 商品・サービスの拡販を推進



▲介護施設向けカタログ



<施設向け家具>

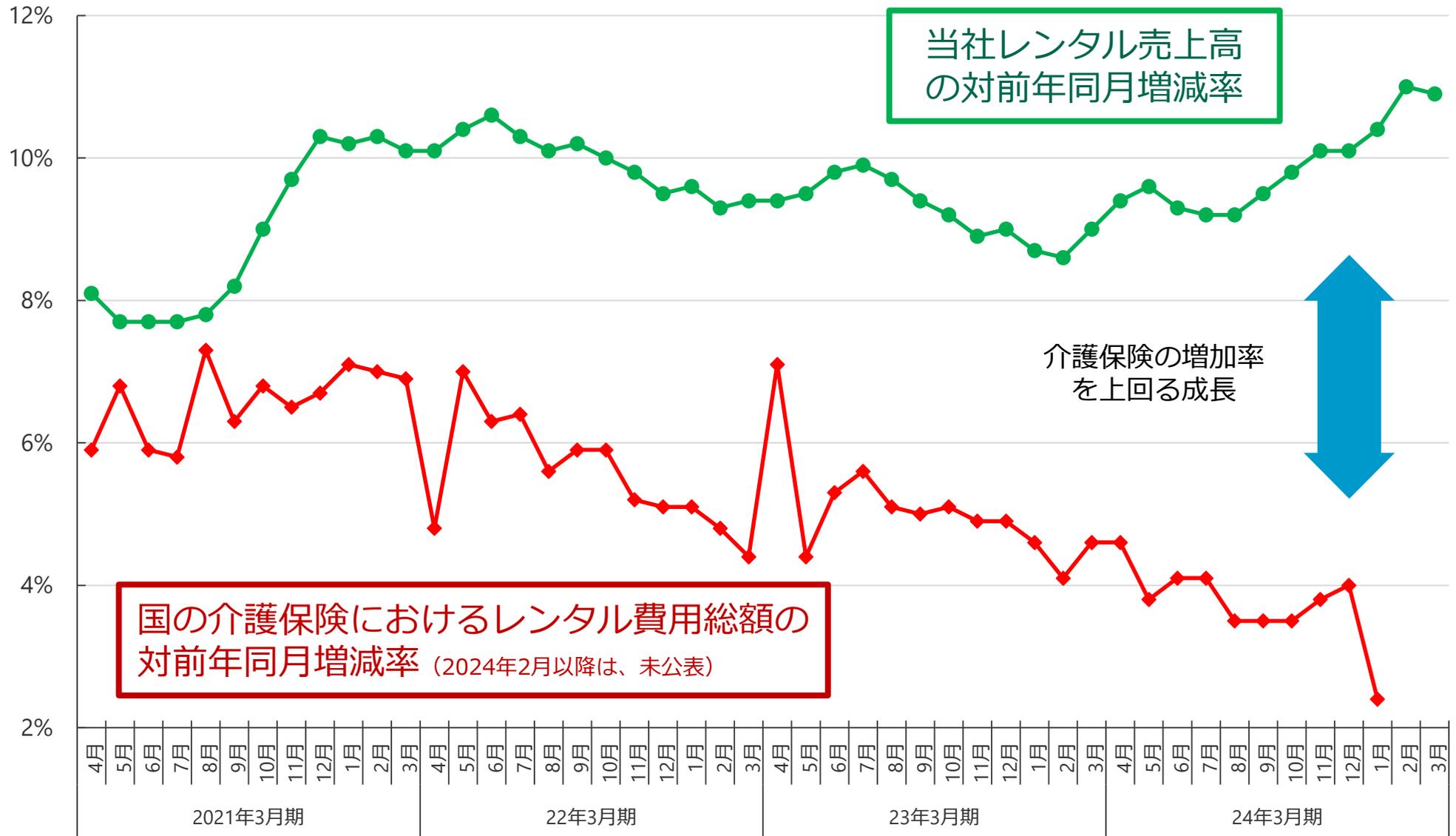


<特殊浴槽>



▲施設向け商材の一例

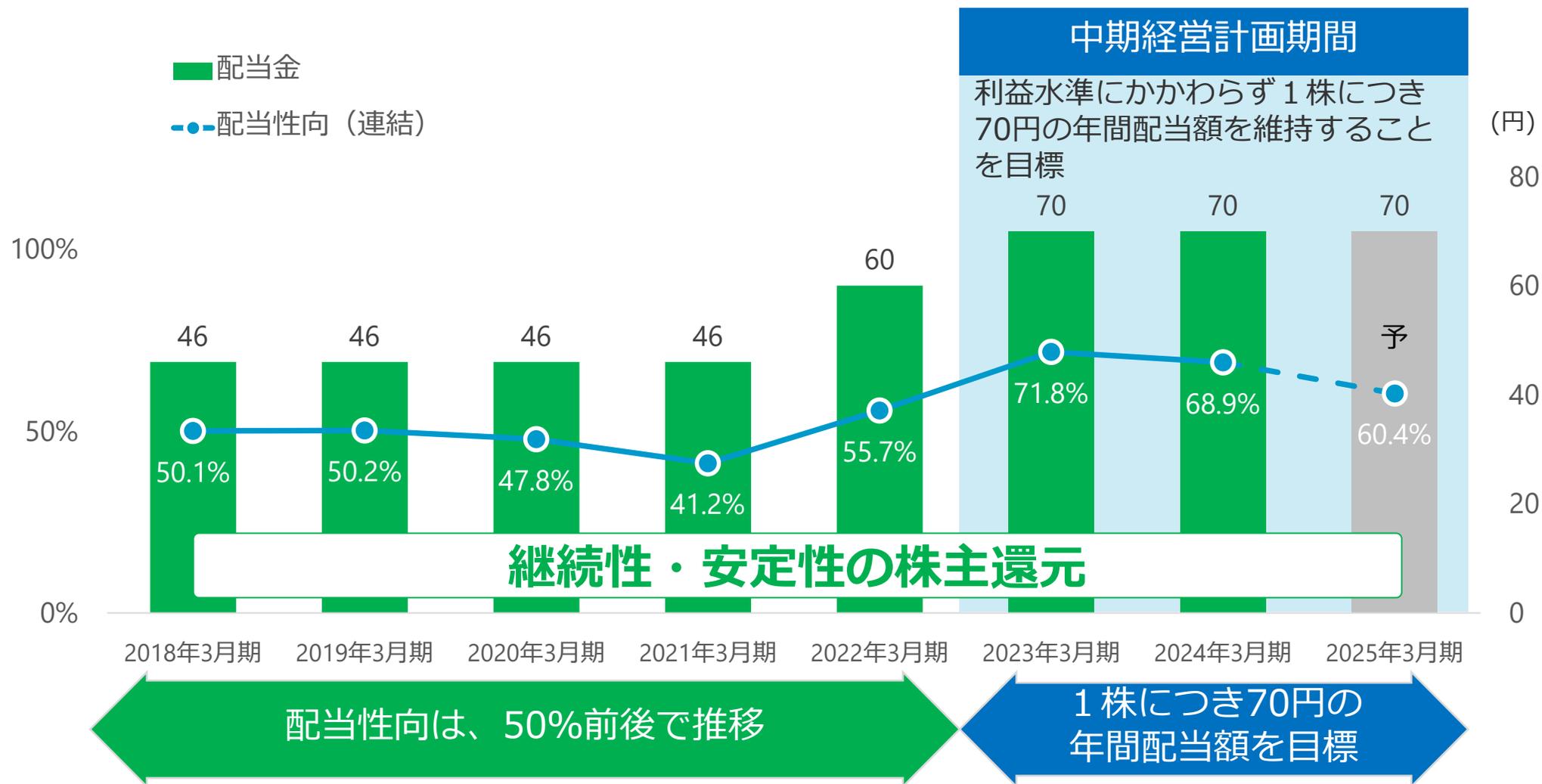
介護保険の福祉用具レンタル需要を上回る成長率



出所：(公)国民健康保険中央会資料より当社作成

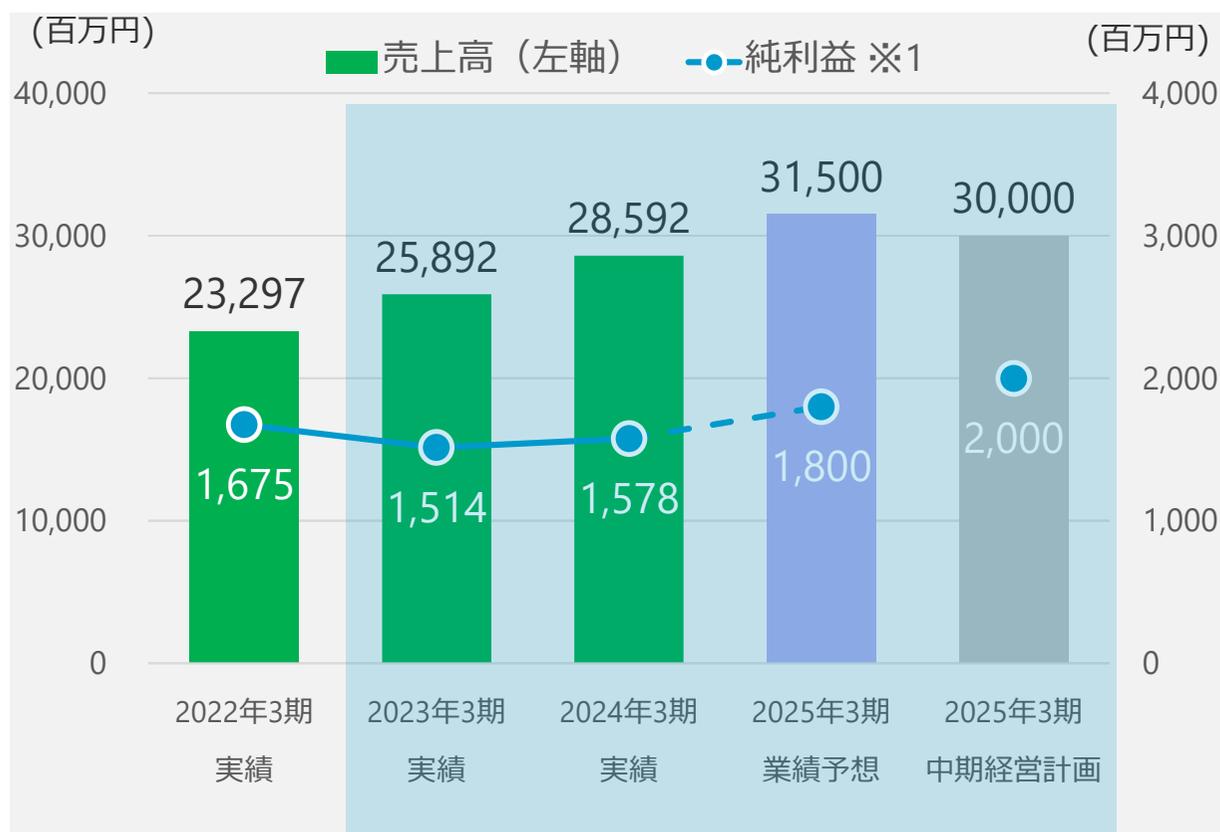
株主還元方針

株主に対する利益還元を経営の重要な施策として位置付けており、業績に対応した配当を行うこと、また、業容拡大を図るため設備投資を積極的に行うなど事業基盤を強化する観点から、内部留保を充実させることも併せて勘案したうえで、配当を決定することを基本方針とする。



中期経営計画の最終年度における業績予想

2025年3月期は、中期経営計画（2023年3月期～25年3月期）3年目の最終年度ですが、インフレや賃上げ影響等による経営環境の変化により、業績予想の数値を見直いたしました。



中期経営計画期間

中期経営計画 連結業績目標

売上高 300 億円

純利益※1 20 億円

ROE※2 13.0 %

中期経営計画の最終年度
経営指標を見直し

2025年3月期 連結業績予想

売上高 315 億円 (+5.0%)

純利益※1 18 億円 (▲10.0%)

ROE※2 10.6 % (▲2.4p)

カッコ内は、中期経営計画比

※1 親会社株主に帰属する当期純利益
※2 自己資本当期純利益率

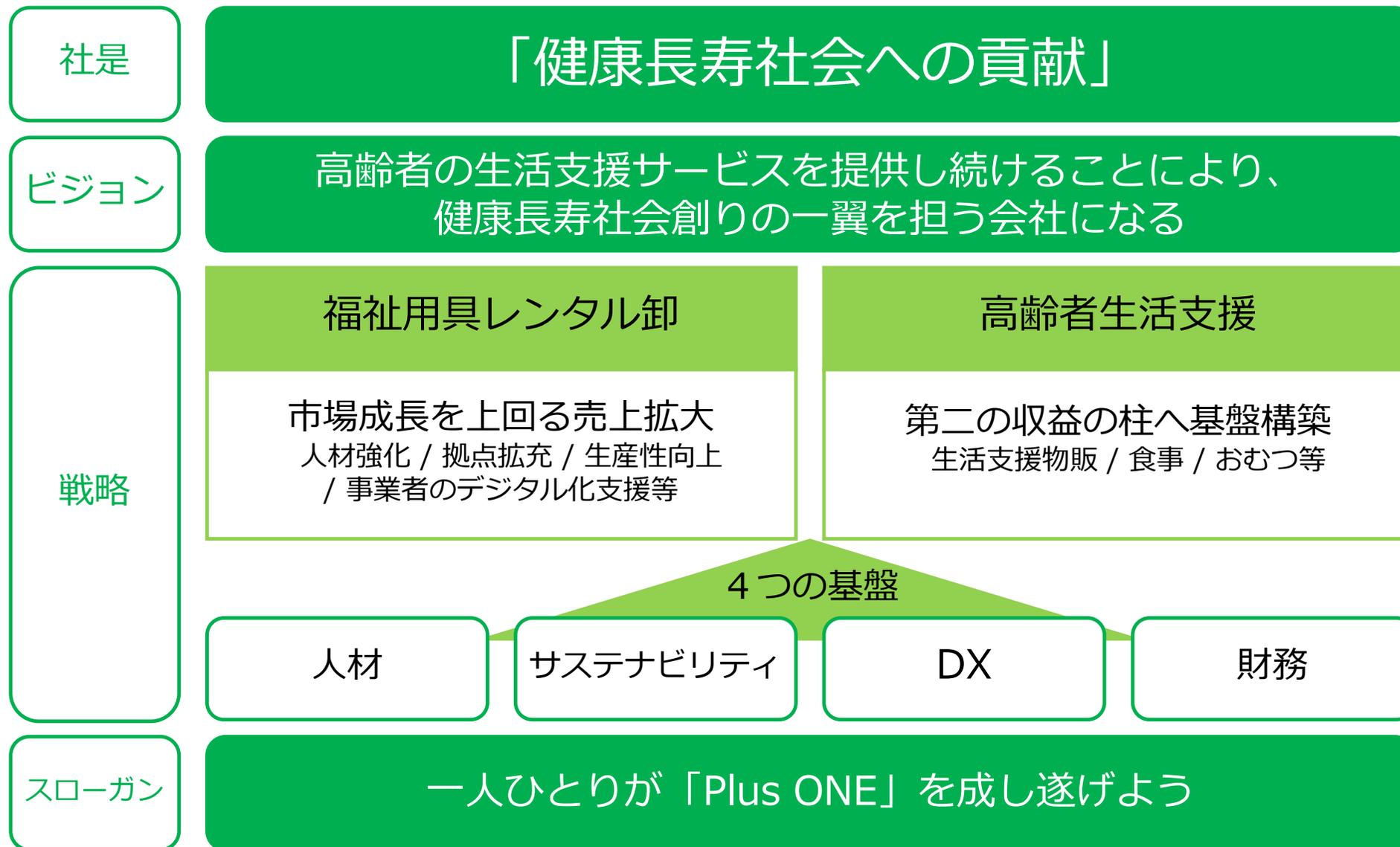
売上高は、引き続き堅調に推移する見込み
費用負担を注視しながら、増収増益を目指す

(百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想※2	前期比	
			増減額	増減率
売上高	28,592	31,500	2,907	+10.2%
営業利益	2,173	2,500	326	+15.0%
経常利益	2,200	2,500	299	+13.6%
純利益※1	1,578	1,800	221	+14.1%
1株当たり 当期純利益(円)	101.57	115.85	14.28	—

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。



基本戦略

- 福祉用具サービス：市場成長を上回る売上拡大
- 高齢者生活支援サービス：第二の収益の柱へ基盤構築

重点施策

- ① 福祉用具サービス
 - ・ 在宅高齢者のニーズを捉えた商品展開や当社オリジナル商品の投入
 - ・ 都市部を中心とした営業拠点の新設・倉庫面積を拡大した移設
- ② 高齢者生活支援サービス
 - ・ 生活支援物販：ECサイトの利便性の向上や差別化の強化
 - ・ 食事サービス：販売チャネルの拡大や商品ラインアップの拡充
 - ・ 介護事業者向けサービスや在宅高齢者向け生活支援サービスの拡充
- ③ 経営基盤の強化
 - ・ 人材の積極的な登用と計画的な育成、ダイバーシティや働き方改革の推進
- ④ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
 - ・ デジタルを活用した社内の生産性向上
 - ・ 介護業界DXの推進
- ⑤ サステナビリティへの貢献
 - ・ 持続可能な社会に寄与
 - ・ 健康長寿社会創りの一翼を担うとともに、社会課題の解決に貢献

様々なステークホルダーとの協働により 持続可能な社会の実現に貢献

■ サステナビリティ基本方針

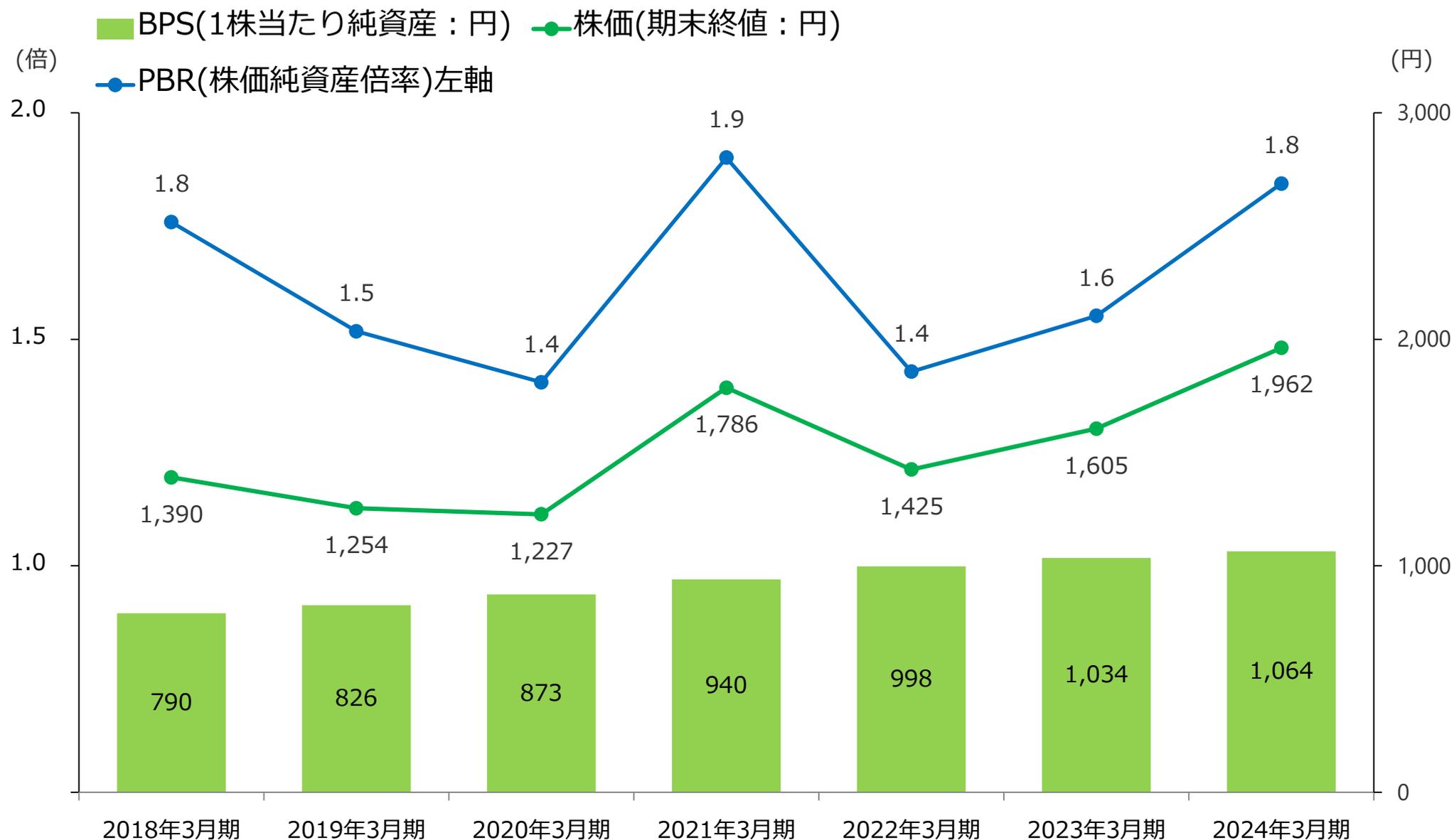
私たちは、社是である「健康長寿社会への貢献」を存在意義と定め、ステークホルダーの皆様との協働により、豊かな暮らしに役立つ商品やサービスの提供によって、社会課題の解決に挑みます。

そして、新しい価値の創造と健全な事業活動を通じて、中長期的な企業価値向上を追求し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。

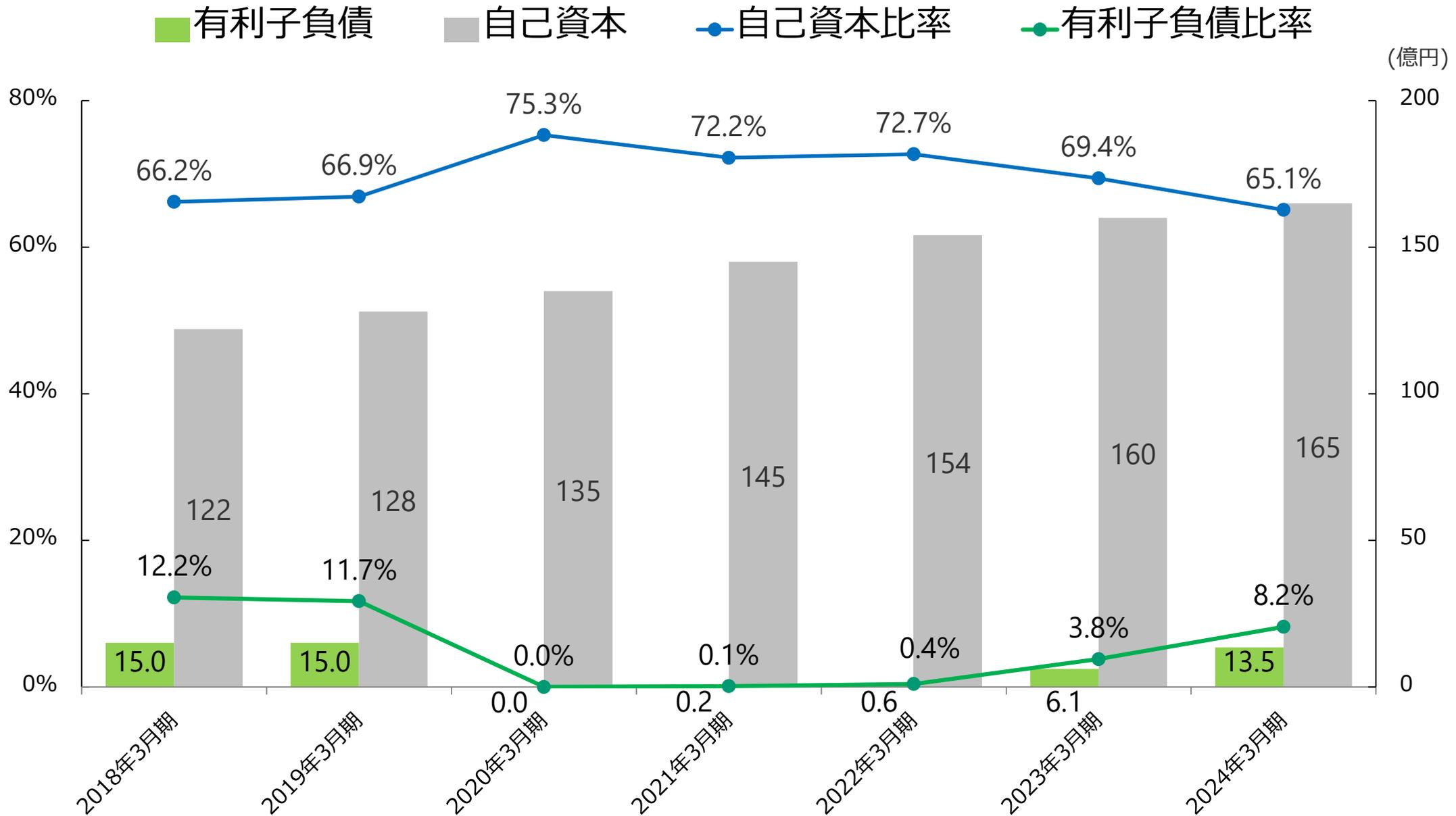
■ マテリアリティ（重要課題）

① 安心して豊かな健康長寿社会への貢献	③ 働く環境の整備と社員成長への取組み
② 気候変動、循環型社会への貢献	④ 企業ガバナンスの高度化への取組み

<参考> PBR・BPS・株価の推移



<参考> 自己資本比率・有利子負債比率の推移



<参考> 日本ケアサプライのビジネスモデル(福祉用具レンタル卸)



介護保険の対象となる電動ベッド、車いすなどの福祉用具を地域の「福祉用具貸与事業者」（以下、事業者）にレンタルし、さらに「事業者」が「利用者」に貸出す事業モデル（レンタル卸）で、当社がそのパイオニアです。

使用后返却された福祉用具を洗浄・消毒・検品・修理して、再び「事業者」に貸し出すリサイクルシステムを構築しており、本モデルそのものが資源の有効利用の一翼を担っております。



※グリーンケアとは、日本ケアサプライが取り扱う高品質な福祉用具のレンタルサービスと、各種サポートをご提供するオリジナルブランドです。

<参考> 介護保険対象の福祉用具



介護保険で**レンタル**できる福祉用具

2024年4月から福祉用具のうち3種目※でレンタル・購入の選択制が開始。
※スロープ、歩行器、歩行補助杖の一部

介護保険で**購入**できる福祉用具



▲介護保険対象の福祉用具イメージ図

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている予想等は、現時点で入手可能な情報に基づいたものでありリスクや不確定な要因を含んでおります。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は、記載されている予想等とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社日本ケアサプライ

経営企画室 IR担当

TEL 03-5733-0381

健康長寿社会への貢献